川口町公民館報

公民館報

第40号

発行人　星野輝政
編集人　金子真
印刷所　山静堂印刷所

あらためたい虚礼

―新生活運動推進のために―

川口町公民館長　星野輝政

まだ云う人が居る!……生活改善だの倹約決めだのと幾年代続いたかわからないんだ、いくらやつても駄目なんだと一言のもとにきめつけている人がまだ居るようです。

そんなことを云う人こそ時代認識不足も甚しいと思います。幾星霜続いた当時の世想と現代とはスッカリ変つた時代の流れを今一度みつめる必要があるのじやなかろうか、明治の大改革から流れを含んで止まない封建的な思想と階級生活の世代に倹約決めも改善も幾度決めても成功するはずはない部落の旧家、本家、旦那衆、重立の声が直ちに至上命令的であつた時代なんです。

しかし世の中は戦後急角度に変革されて新しい民主社会が確立されて土地は開放され主従関係も開放されて本当に一対一の生活権が認められ自由に自主的に思う存分に発揮される時代となつた今日、じつくりと自分自身の生活を見つめ常に心の改善から、と新生活運動推進の底を流れるものの認識が先づ以つて必要になつてくるわけである。

従つて各社会教育団体や部落で各々その立場、実情に相応した方法は漸次取り行われていることは誠に好ましいことである。

今回町を挙げて真剣に新生活運動を展開し町民全体の方々から積極的の御協力をお願いしたいのであるが、この新生活運動の町ぐるみの問題点は多額多様であるが差当り農業立町の当町として農家経済に極めて重大な影響があり実践困難とされている問題点から取組みこまかな問題は各地館毎に計画立案して推進願いたいと思うが、今回公民館運営審議員会の決定を見ました事項は、

一、公民館結婚の奨励
一、厄年祝（男四十二才女三十三才）簡素化について

第一回の運動を展開することにしたのである。

公民館結婚については具体的の方法を立案中で、今月末日頃発表する予定であるので御諒解を得たい、厄年祝の簡素化については、来年男四十二才　女三十三才に該当する方々は各地区館内毎に学校其の他の場所に集合して神宮其の他から厄年太払いの祈願を受け一日中話し合いの会を持つて記念写真を撮つて解散という最も簡素にし各自家庭の祝事は一切廃止するように願いたい。

尚この経費としては一人当りの会費及神宮祝儀写真代等は各地区分館毎に決定して来年から必ず実行するよう町民の方々から特別の御協力をお願いします。これを契機として今後各地区館を中心に新生活運動を強力に推進し、みんなが明るい豊かな家庭造り町造りに寄与されんこと切望して止まない次第である。

整地された相川開田

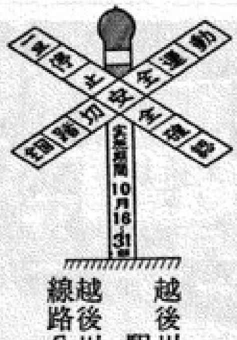
公民館運営審議委員会開催

去る十六日午前九時三十五分、役場委員会室において公民館運営審議員会がもたれ左記の委員が出席され八つの議題について審議した。

議題
1. 鈴木教育委員再任について
2. 敬老会について
3. 十一月三日の記念行事について
4. 中央青年学級開設について
5. 公民館結婚奨励について
6. 新生活運動協議会設立について
7. 農業経営に関する講演会について
8. 川口民謡選書について

以上八件について種々討議を行ないこれが実現に町民各位の格別の御協力をねがうことになつた。尚具体的な点については別掲とする。

全国踏切安全運動によせて



実施期間 10月16－31

越後川口駅長
越後川口線路分区長

踏切では必ず人も車も一時停止して、安全を確めてから横断しましよう。

国鉄は十月十六日から三十一日まで十六日間全国踏切安全運動を全国的に展開いたしますが、踏切における障害事故は次の表でわかるように逐年増加の傾向で、戦後の五一八件に比べるとまことに驚くべき増加であります。その多くは自動車による事故で、惨禍のスケールの大きさも目を覆わしめるものがあります。踏切事故は一瞬にして尊い人命、財産を失い、輸送に多大の障害を与え、また列車脱線等の重大事故を起す可能性もあつてまことに恐ろしい結果をまねくことになるのであります。

川口町にも上州街道踏切、竹田踏切、中山踏切その他多くの作場道踏切がありますので、何としてもお互に交通道徳をたかめ、交通規則をよく守つて、踏切を通るときは、車といわず人といわず、またどんな踏切であつても必ず一旦踏切の手前で止まり、列車が近づいているかどうかをよく確かめてから通行するということを習慣づけることに、この運動の実施にあたつて強く皆さんの協力をお願いする次第であります。

○お互の協力で踏切事故の惨禍を防ぎましよう。

踏切事故件数表

年度 種別			三十二年度	三十三年度
全国		発生件数	2156	2543
		死亡人数	722	709
		負傷人数	1153	1281
新潟鉄道管理局管内	列車と衝突したもの	発生件数	61	84
		死亡人数	8	22
		負傷人数	18	43
	列車が事前に停止したもの	自動車	62	71
		軽車輛	71	62
		歩行者	57	77
		件数	190	210

たった一度

上村

たつた一度という言葉があるが、たつた一度でも許されない悲惨な交通事故があまりにも多いとりわけ児童幼児の事故が各地で続発していることはなんといつてもいたましい。

毎日元気で通園通学しているからといつて、いつまでも無事故であると保証できないのがこんにちの交通である。

交通事故も瞬間のできごとでその瞬間における判断、行動の適否が安全か事故かを決定するものである。

この能力の基礎をなすものは交通法規の理解とじゆん法であるが、この指導と心得は短日月では容易でなく日常生活の中にとけこまなくては効果は薄い。

よろこびにあふれて通学する幼児、児童をたつた一度の交通事故からあたら尊い生命を失うことのないようお互の立場より注意指導に努めてほしい。

鈴木六郎氏再任

九月三十日任期満了となつた川口町教育委員鈴木六郎氏はこのほど十月一日付をもつて再任され町教育振興にその敏腕をふるうことになつた。氏は明治二十六年十二月五日生まれ旧小千谷中学校を卒業後家事に専念その間持ち前の誠実さを買われ、村会議員を歴任現在に至る、好物は三色焼酎。

秋季全国交通安全運動の実施に御協力を

秋季全国交通安全運動が十月十六日より展開されます。

車輛の激増と大型化は勿論車種においても一般車、貨車の外原動機自転車、特殊自動車、農耕用など多種多様である。

適切な交通規制を行いいかに取締を行つても車馬の操従者や、道路を通行する人が法規を守る心がけがなくしては事故の絶滅を期されない。

安全運動の目的は道路を使用するすべての者に対し交通道徳の高揚をうながし正しい交通の実行とよりよい交通環境の実現を期して交通の安全と円滑をはかることにあります。

一、期間
十月十六日より十月二十五日までの十日間

二、重点事項の主なるものとして次のような事項があげられる。

1. 歩行者
対面交通の励行
正しい横断の励行

2. 運転者
安全運転のじゆん守
追越の際の安全確認の励行
幼児児童の通行保護
踏切における安全確認のための一時停車の励行
自転車の左側一列通行の励行と二人乗り禁止

三、交通環境の整備
道路環境の整備
車輌完全整備の励行
交通騒音の防止
運転者に対する労務管理の適正化
児童遊び場設置の促進

交通安全運動は単なる年行事でない。

町民挙つて本運動の実現に努力しこれを恒久的に持続してこそ成果が期待されるものと信じます。

先づ望みたいことはなんといつても道路環境の整備に御協力を願いたい。

最近各地における道路内における物件でさい整備されるに至つている。

年毎に激増する交通現況下都合主義、利益本位による道路使用、物件放置は許されないもはやこれ等の行為を注意を受ける時代ではないと思う商店街は勿論、収穫期、越冬準備などによる諸物資は道路以外のところに整備し常に交通安全のため御協力下さい。

川口町長　大渕鉄太郎
助役　佐藤邦平
収入役　石坂久平
教育長　星野輝政
川口診療所
所長 医学博士　栗原　雄
田麦山診療所
所長　宮川よし夫
木沢診療所
田麦山所長　出張診療

こまっている人たちへ

九月下旬名古屋地方をおそつた台風のため被害をうけた人たちへ、あたゝかい手をさしのべようと呼びかけて来たがこのほど次の人たち（団体）からそれぞれ見舞金、見舞品の届けがあつた。

川口二　中林慶太郎
川口　立正交成会
田麦山　大渕鉄太郎
川口　川口中学校
川口　古田島　俊
武道窪　樋久　建設
川口　河上源太郎
〃　三輪　ハル

町民体育祭

十一月三日午前十時
川口中学校

プログラム

一、開会挨拶　公民館長
二、来賓祝辞
三、競技上の注意　審判長
四、体操

午前の部（二時間）

1 先んずれば人を制す（百米）　各地区館三名
2 かんたゝき　女子青年
3 ピンつり　三〇才以上の男子
4 各小学校招待レース　（三年生以上）
5 自転車おそのり　各地区館三名
6 旗ひろい　（来年度入学児童）
7 女子六〇米
8 地区別中学生リレー　各地区館二名
9 民踊

午後の部（二時間二十五分）

1 二〇〇米　各地区館二名
2 タバコ競走　来賓
3 あせれば事をし損ずる（仕度競走）　各地区館青年二名
4 かんなん汝を玉にす（マラソン）　各地区館二名
5 四〇〇米　各地区館一名
6 パンくい競走　各地区館三名
7 借物競走　各地区館四名
8 農産加工（果物皮むき）各地区婦人会二名
9 地区館対抗リレー
10 体操

一、閉会　二、講評
三、得点発表　四、賞状、賞品授与
五、閉会挨拶　商工会長
六、体操

（雨天の場合は午後から中学校で婦人会の芸能発表）

みんなでやりましょう

家庭でやれる 誰でもできる たのしいゲーム

最近社会体育の中に多く取り入れられて来たものの中にゲームがある。これは部落の集会などによく用いられているようだ。時間通りに来た何人かの人がみんなの揃う迄待たねばならない。その時の気持はたとえようのない、嫌なものである。時間を守りましようと口ではいつてもなかなか思うようにはいかないようだ。

どうしてだろう、開会時間に集まれない何か無理な点があるのだろうか、いや〇〇時間だとかいつて三十分も一時間もハバをもつて出かける悪い習慣はなおさねばならないこんなことから楽しい雰囲気を作るものとして、いくつかのゲームのやり方を紹介しよう。さつそくやつてごらんなさい。

大切なことは必ずリーダーがいなければならないのでそのリーダーになる人は特に集つた人たちの年令、男女の具合なども充分研究して場所なども頭の中に入れて種目を選んで下さい。

1 鉢巻競争（ネクタイ結び）
人数　何人でもよい
用意するもの　各組手拭一本ずつ。

二組に分れ、向い合つて坐る各組の端の人は手拭を用意する。リーダーの「用意、はじめ」の合図で、手ぬぐいで頭に鉢巻をし、手を打つて次の人に渡す。これを順々にリレーする。最後の人は鉢巻をし手を打つてから鉢巻をとき手を上げる。早く手が上つた組が勝。男女まざつている場合は交互に並び「ネクタイ結び」をやるのもよい。手拭をネクタイの代用にし、女性はとなりの男性のを結び男性は解いて次の女性に渡す

▽手に傷があつたりして出来ない人は、審判になつてもらう。
▽せいぜい一往復でやめ、あまり長くやらないこと。

2 豆まきに行くときは
人数　何人でもよい。
用意するもの　何もいらない。

一重の輪になつて坐る。リーダーに指示された人（ジャンケンで一番勝つた人）が「私はこれから豆まきにいきます」という。次の人は豆まきに心要なもの、或いは豆まきに関係あることを一言つけ加える。三番目の人にまた一言つみ重ねていく。たとえば

一番「私はこれから豆まきにいきます」
二番「私はこれから豆まきに鉢をもつていきます」。
三番「私はこれから豆まきに鉢をもつて地下足袋をはいていきます」。

という具合にやつていく。前の人のいつたことを正しくいえなかつたり、忘れてしまつたり、何もつけ加えるものがなくなつたりした人は負。

豆まきの代りに「ムギまき」「田植」「山登り」「東京見物」「お嫁」など、いろいろ変えてみるとおもしろい。

▽どこでも、誰れでも、どんな集まりでも出来る。
▽数回つづけてもあきない。

3 お盆まわし
人数　二〇～三〇人
用意するもの　お盆一つ、手拭。

二〇～三〇人くらいで円陣を作り、円の真中に手ぬぐいを二本おく。一ヶ所から左右両方に番号をかけて二組に分け、めいめい自分の番号をおぼえてもらう。リーダーは真中に立つて、丸いお盆を立ててまわしながら「〇番」と番号を呼ぶ。呼ばれた番号の人二人はすぐに出て、前にある手ぬぐいを取り、はちまきをしてお盆をうばう。先にお盆取つた方の勝。お盆をとつてもはちまきがほどけてしまつては負。何回かやつて、勝つ人の多い組が勝となる。

▽何番が呼ばれるかという緊張を全員に持たせ、また呼ばれた人はからだを動かしてやるので、すぐに成功するゲーム。
▽若い人むき。
▽いつでも、どこでもできる

よりよい郷土づくりを目ざして

泉水地区館長　鈴木栄次郎

申すまでもなく公民館は、公民館自体の活動分野を持つていることは勿論ですが、婦人会、青年会等の社会団体の各々が、それ自体の活動目的を遂行するよう力添えすると共にそれ等諸団体の有機的な連絡提携を促進して、活動の効果を一層高めようとするものであります。端的にいうならば新しい住みよい郷土づくりをめざした極めて広範な活動であります。

こうした意味から従来の小分館制を廃して、ブロック毎の地区館制をとつたことは大変意義あることであり、夫々の地区内に於ける各種団体の活動が、緊密な連絡のもとに行われ、又従来は小分館単位だつた為出来なかつた事でも大きな集団となつたため実施出来るという利点を大いに発揮しなければならぬと思うのであります。

といつても何分本年は新制第一年の事でもあり、発足がしばらくおくれた為め、事業計画も実際活動も遅々として進まない事も否めない事実です。

地区館としての基本方針や事業計画の大綱は、どの地区館でも大同小異さして変りないのであつて、既に前号に西川口地区館で記載してありますので省略しますが、それをどの様な形で活動にあらわし効果を挙げるかが、最も苦心するところであります。

地区民がお互に深い理解の上に立つて、気持よい人間的なつながりを持ち、共通な問題や悩みを心置きなく語り、解決のために協力する事が、よりよい郷土づくりの基盤であり、そのためには先づ何よりも「気楽に」「何時でも」集まる事が出来るようでなければならないと思うのですが我が泉水地区は地形的に恵まれない関係上、全体的な集いや、活動をする機会を作るのに誠に困難を感じているのであります。

例えば成人教育としての婦人学級乃至は研修会なども、現在は各字婦人会のまちまちな行事として、仲々地区全体の集会を持つ機会が持てない個々の集会にも勿論利点はあるが、よりよき郷土づくりのためにはどうしても地区全体の集会が数多く持たれる事が必要であると痛感しています。本年は各字毎に実施して来た敬老会を地区一体として実施しては、というので、近く協議する事になつているがこうしたことが契機となつて気楽な、時々という集まりが出来るようになればと念願しています。

結局は地区の皆さんが、公民館活動の本質を理解し、よりよい郷土づくりの意欲を盛んにもることこそ、今後の公民館活動をよくする根本と思いますので皆様の御協力を切にお願いする次第であります

地区館運営はこんなふうに

和南津地区館長　喜多村實市

不肖私和南津惣代をお引受けいたした関係上、柄にもない分館長を同時にお引受けいたしたような次第です。

当時私をはじめ部落民の一部にも、公民館のあり方が徹底しておらぬように思われました。

しかし私は惣代という重責があり、次々と部落の仕事におわれ心ならずも、しばらく静観いたしたようの有様でしたが、本年三月、青年会、婦人会、PTA、農研、4Hクラブ等各種団体長、役員参集の上分館の指導者研修会を開き、本館から金子主事のお出を願い、分館の目的運営等につき詳しく御説明を聞き、分館の徹底を計り、各種団体から御協力を得、月別事業計画書を集めそれを調整いたし新生活運動に、産業の振興育成、社会体育の推進に協力推進いたしておりました。しかし集会時間の確守が出来ておりませんので議論にとりあげ町教育長さんから時間確守のポスターをいただき、ポスターを利用いたし集会の都度議題として審議いたしました。簡単のようで簡単でなかつたが、皆さんの御協力で時間確守も出来るようになり、今では都合で欠席の場合前もつて届出するようになり、時間的に非常に有利であり、又会の運営もよく、皆さんに喜ばれております。

次に本年運動会には校長さんと話し合いで、校長さんと地区館名目で青年会、婦人会各団体全部協力参加で、校区民全員一致の大運動会という案内を致しました。ぐずついた天候にもかかわらず例年にない盛会で、しかも部落民みんなが愉快に楽しい一日を過すことの出来たことは公民館活動の統一によるものと思いました。

今後敬老会や農神祭をかねて農作物展示会等も目下計画致しております。月一回慰安会映画会を行う予定でおります何分とも本館を始め皆様方の御協力を御願い申し上げます

★　☆
☆　★

交通規則を守りましよう

交通安全運動実施中

うたにゲームに民踊に

社会体育推進員講習会開かる

久し振りに晴れ上つた秋の日（十月十五日）の午後、川口町社会体育推進員講習会が川口中学校を会場に開かれた。この日各部落の指導者として活躍している人達十一名で時間も忘れ秋の日をいつぱいに浴びながら楽しく過した。

内容は次の通り。

1 うたの習、若い力、ラジオ体操のうた。
2 ゲーム（室内ゲーム）おぼん廻し、一分ゲーム、命令ゲーム等。
3 民踊「お六甚句」
4 軽スポーツ、フリーテニス、バドミントン。

指導は本館の金子、小宮山両指導員であつた。

時間を守る八ヶ条

一、集まる人の職場や立場を考えて始める時間と終りの時間をきめましよう
二、集まりの内容をおそくとも三日前までによくわかるよう通知しましよう
三、欠席やおくれるときは前もつて主催者に連絡しましよう。
四、会場では司会者の指図にしたがつて定められた席に遠慮なく着きましよう。
五、時間が来たらたとい小人数でも会を始めましよう。
六、発言は、はつきりとよけいな雑談はさけましよう。
七、司会者は定められた時間内に会を終るよう取計いましよう。
八、集まる人がおくれないよう、家庭も職場も協力しましよう。

主唱
川口町教育委員会
川口町公民館

十、十一月の主な行事

10月
25日　西川口敬老会　西川口小学校
26日　慰霊祭
26日　北魚沼郡青年学級生大会　広神中

11月
1日　川口　敬老会　川口中学校
〃　和南津〃　和南津小
〃　田麦山〃　田麦山中
〃　泉水　〃　泉水小
3日　町民体育祭　川口中
〃　雨天のとき民踊大会　川口中
〃　農産物品評会　〃
8日　木沢敬老会　木沢小

ごくろうさまでした

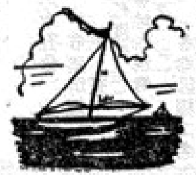
自衛隊員かえる

去る九月上旬から十月上旬まで相川、武道窪区画整理工事に愛知県豊川市から石丸二尉以下二十五名が来川し一ケ月余り工事に従事し十月八日全員無事帰隊した。

その間余暇を見つけ、役場をはじめ町内の各野球チームと試合を行ない、終始和やかな交換風景が見られた。

帰隊する十月八日は、町長始め役場職員、土地改良関係者が多数見送り、その労をねぎらつた。

☆ ごくろうさま ☆
帰隊する自衛隊員



振興まつり計画

十一月
三日　小千谷川口農民まつり　小千谷小、川口中
三日　川口町民体育祭　川口中
五日　川口地区錦鯉品評会　川口駅前
七日後七時　小千谷川口振興大会　小千谷市役所
七日後一時　二市三郡児童生徒音楽交歓会　小千谷小
九日前十時　小千谷川口農業振興発表会　小千谷市役所
九日　農村慰問アトラクション　小千谷川口一円
九日後六時半　収穫感謝祭　小千谷小
十日　〃　川口中